

現高2生へ

2014年に向けての【学習アドバイス】 数学Ⅱ・B

I. 基本的な問題をしっかりと解くこと

教科書や予備校のテキストをしっかりと解くこと。センター試験は丁寧な誘導がついているので、特別な発想は必要なく、基本的な解法がいかに正確に身に付いているかが問われる。誘導が分かりにくいとよく言われるが、一つ一つの解法パターンが身に付いていれば、設問の意図も速やかに捉えられるはずである。レベル的には教科書の例題や章末問題、市進予備校の単元別テキストの Concept Lecture 辺りが目指すべきところであり、各分野とも抜けがないように繰り返し解くことが望ましい。

II. 計算力の強化

今年度は随分軽い出題であったが、例年は分量的にきつく、計算力が問われる科目である。高得点を目指す生徒は、暗算で処理できる範囲を広げていくなど、計算の速さと正確性の両方を追求していこう。また、計算力の中には計算の工夫も含まれるので、予備校の授業などで披露される考え方やテクニックなどはできるだけ身につけたいものである。

III. 手を動かす

数Bを中心に2次試験レベルの問題が出題されることも少なくない。条件の設定が複雑であったり、見慣れないものであったりする場合には、まず与えられた条件をしっかりと把握しないといけない。そのためには、具体的に数字で調べてみたり、図をかいてみたりと、手を動かして、問題の大枠を把握することが大切である。

IV. 過去問

今年は特に分量が少なかったなので、他の年度を参考にして標準的なボリュームを押さえておきたい。センター試験で何点を目指すかによって戦略は変わってくるが、いずれにしても3年生の夏以降には過去問演習が必要になる。過去問演習においては、独特の誘導に慣れること、時間との戦いを肌で感じるものが特に重要である。ただし、基本的な解法を身につけることが先決なので、標準的な問題がある程度解けるようになるまでは、教科書や予備校のテキストに専念するようにしよう。